

K I N K O N

KISHU
ICHIKAWA
NIIGATA
KATSUTA
OSAKA
NAGAOKA

2020
春夏



北越コーポレーション

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、
お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン♪」をイメージ
した、当社の環境活動通信誌です。

目指すべき未来に向けて グループ環境目標2030の制定

気候変動に関する国際的枠組みとして2015年に採択されたパリ協定を受けて日本では、「温室効果ガス排出量を2030年度までに2013年度比26%削減(2005年度比25.4%削減)」を目標としています。また、SDGsに見られるように海洋プラスチック問題や資源の循環利用など様々な面から持続可能な社会の形成に向けた対応が企業にも求められています。

北越グループでは、2019年4月に制定したグループ環境憲章の理念を実現させるため、2020年4月には新たに目標年度を2030年、国内外全てのグループ企業を対象としたグループ環境目標を制定しました。目標の実現に向けた取組を継続してまいります。

グループ環境憲章

理念

私たちは、自然環境に与える影響を最小限にする「ミニマム・インパクト」の考えを全ての事業活動に展開し、人と自然が共生する豊かな未来づくりに貢献します。

基本方針

1. 環境に配慮したもののづくりを推進します。
2. 地球温暖化対策を推進します。
3. 持続可能な森林の育成管理を行います。
4. 資源のリサイクルを推進します。
5. 廃棄物の削減と有効利用を推進します。
6. 環境負荷の低減に向けた設備投資を積極的に行います。
7. 環境コミュニケーションの充実を図ります。

グループ環境目標 2030

地球温暖化対策

- CO₂排出量を2005年度比43%(約45万t)削減する。
- 物流で発生するCO₂排出量の削減を推進する。

森林育成・管理

- 使用する製紙木材原料を全て合法性・持続可能性の証明が確立された森林から調達(使用率100%を維持)する。
- 生物の多様性や森林の多面的機能の向上を目指した森林管理を継続する。

資源活用・リサイクル

- 水使用量の削減を進める。
- 古紙利用製品の拡充により古紙の利用を推進する。

廃棄物対策

- 廃棄物の有効利用率を向上させる。

環境法令の遵守・排出管理

- 排水・排気に伴う環境負荷物質の低減を図る。

環境配慮型製品・技術

- 環境配慮型製品を拡充する。
(海洋プラスチック問題の解決に貢献する製品の開発 等)
- 環境負荷の小さい原材料・薬品を使用する。

CO₂排出量の削減

北越グループでは、ミニマム・インパクトに基づきCO₂排出量の削減につとめています。

2014年には天然ガス発電設備の稼働によるCO₂排出量約6万t、2015年には黒液濃縮装置の新設によるCO₂排出量約1.6万tの削減を達成しました。



黒液：パルプ原料であるチップの樹脂分などからなるバイオマス燃料

森林の管理

国内では、約12,000haの社有林、分収林を所有しています。

また、南アフリカやカナダでは森林認証を取得した森林を管理しています。



南アフリカの社有林

古紙利用の推進

1986年6月に世界初の本格的オンコーターマシンとして稼働したN6(新潟工場6号抄紙機)は、地元新潟からの要請に応え、2020年春に原料のほとんどに古紙を使う段ボール原紙マシンとして生まれ変わりました。



段ボール原紙を生産開始したN6

関東工場では、古紙が大量に発生する首都圏に位置する立地を活かして、古紙を原料としてパッケージなどに使用される白板紙を生産しています。

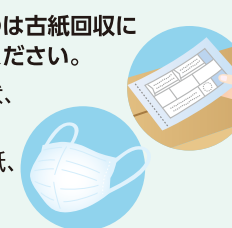
KINKON
豆知識

段ボールの原料は段ボール

段ボール原紙は、原料のほとんどが一般家庭や企業から集められた段ボール古紙で構成されています。使い終わった段ボールは古紙として新しい段ボールに生まれ変わる大切な資源となるので、適切なリサイクルにご協力をお願いします。段ボール古紙に混入してしまった異物が新しくできる段ボールの品質に大きく影響します。

- これらのものは古紙回収に出さないでください。

宅配便の送り状、
汚れた紙、
匂いがついた紙、
不織布



環境配慮型製品の拡充

北越グループでは、海洋プラスチック問題に貢献する紙ストローや紙ファイルなどの原紙を供給しています。

最近では、極めて薄いコーティング剤を紙に塗布した新素材「パンセ」を開発しました。(詳細は裏面をご参照ください)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



「パンセ」環境に配慮した紙素材の開発

今回開発した「パンセ」は、食品の保存のために必要な水や油を遮るバリア性能や、パッケージングに必要なヒートシール性能を持ちながら、従来のポリエチレンラミネート紙に比べてプラスチック使用量を70～90%削減した、環境に配慮した紙素材です。

基材には様々な機能・風合いの紙を使用することができ、コーティング剤にはアメリカ食品医薬局(Food and Drug Administration; FDA)の認可を得た安全なものを使用しています。紙コップや紙トレイ、包装など様々なお客様のニーズにお応えすることを目指します。

北越グループでは、海洋プラスチック問題などに貢献するために、「パンセ」をはじめとした環境配慮型製品の拡充を目指してまいります。



エコプロ2019に出展しました

2019年12月5～7日に東京ビッグサイトで開催されたエコプロ2019に出展しました。

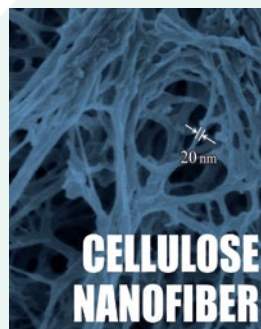
ワークショップでは当社のHS画王、スライトを使用した「大人の塗り絵」(河出書房新社)の公式インストラクターによる塗り絵体験教室を開催し、様々な年代の方にご好評いただきました。

また、「紙を超える紙」として紹介したPASCOは、リサイクル原料を主体とした暖かみのある素材としてエコプロの概念にも合致し、多くの人に興味を持っていただきました。



PASCOコーナー

紙パルプ技術協会賞 受賞



2019年10月に開催された紙パルプ技術協会年次大会で、紙パルプ技術協会賞の表彰式が行われ、北越コーポレーション、北越東洋ファイバー、東京大学の共著論文「セルロースナノフィブリルで接着されたオールセルロース材料の解析」が紙パルプ技術協会賞として表彰されました。150年以上の歴史をもつバルカナイズドファイバーが、CNFによってできていることを明らかにしたことが高く評価され今回の受賞に至りました。

北越グループが国内で唯一生産しているバルカナイズドファイバーは、1859年にイギリスで発明されてから世界中で利用されていて、近年ではオールセルロースの素材としても注目されています。



左から当社新機能材料開発室 根本、福島
東京大学 磯貝教授

編集後記

エコプロ2019に出展した当社ブースにご来場いただいたお客様に、紙ファイル・紙ストロー・紙スプーンを紙袋に詰めたペーパーオンリーノベルティを配布し、ご好評いただきました。

一部を紹介すると、当社の原紙を使用した紙ファイルは、綴じたまま中身を確認できるように透明度の高い紙を使用しています。また、紙素材ですので使用後にはシュレッダーにかけることができます。この「半透明な紙」を知らなかった人ものではないでしょうか。広くは知られていない特殊な性質を持った紙がまだまだたくさんあるので、この通信誌を通して紹介してまいります。

この通信誌の用紙にはミューマット-F 157g/miを使用しております。

KINKON vol.13

2020年5月発行



エコパルプ



スリムCO2

【発行】

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2
TEL(代):03-3245-4500 FAX:03-3245-4511
http://www.hokuetsucorp.com/

